

平成 23 年 1 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 新本店営業開始のお知らせ

当行は、先月末までに本店を移転完了し、本日から新本店にて営業を開始いたしましたので、お知らせいたします。

当行は、保有資産の効率化を目的に、旧本店(東京都千代田区)を平成 20 年 3 月に売却、同年 9 月 5 日付け「新本店予定地のお知らせ」にてご案内いたしましたとおり、日本橋室町野村ビル(東京都中央区日本橋室町 2-4-3)を新本店と定め、移転の準備を進めてまいりました。

新本店は、最先端の省エネルギー対策の導入によるエネルギー消費量の大幅な削減や事務スペースの最適化による省スペース化により、本店運営経費の大幅な削減が期待できます。さらに、東京における新たな集客の核として注目を集める日本橋室町での開業は、お客さまの利便性の向上にもつながります。

当行は、平成 20 年度、21 年度に 2 期連続で多額の損失を計上するに至った経緯に対する反省を踏まえ、平成 22 年 9 月に改訂をお知らせした「中期経営計画」の理念に沿って、持続的かつ安定的な収益基盤を確立するため、収益力の一層の強化と、より効率的な業務運営に向けて、全行が一丸となって業務に取り組んでおります。このうち、経費の削減については、業務の効率化を進めた結果、平成 22 年 3 月期には対前年同期比 5.8%減少し、1,683 億円となりました。中期経営計画では、計画最終年度の平成 25 年 3 月期の経費は 1,400 億円と、さらに 283 億円削減する予定です。

新本店の特色は以下のとおりです。

省エネルギー、省スペース、低コストのスリムな新本店

- ◆ 日本橋室町野村ビルは、空調、照明、給湯設備、エレベーターなどの面で最先端の省エネルギー対策が導入され、グリーン電力の購入や屋上緑化を採用していることから、移転により、環境負荷のさらなる削減に配慮した新本店のオフィス設計が可能となりました。
- ◆ 組織、要員のスリム化と効率的なレイアウトの結果、当行使用面積は旧本店と比較して 30%以上削減されました。
- ◆ 年間の電力消費量は約 30%、水光熱費は約 20%など、エネルギー消費量も大幅に削減される見通しです。
- ◆ 賃料が旧本店よりも約 30%低下するなど、本店運営経費の大幅な削減を見込んでおります。

お客さまの利便性は大きく向上

- ◆ 日本橋室町は大手百貨店の本店を中心とする商業集積地ですが、当ビルを含む近隣の再開発や大手ホテルの進出などにより急速に魅力を高め、東京における新たな集客の核としての注目を集めています。
- ◆ 新本店ビルは地下鉄三越前駅から地下通路で直結しています。

当行では、金融ならびに商業施設の集積地である日本橋への新本店の移転を機に、経営の再建に向けた決意を新たにし、お客さまに求められる、信頼される銀行グループの実現を目指し、一層の収益力の向上と業務効率化に注力してまいります。

### 【新本店概要】

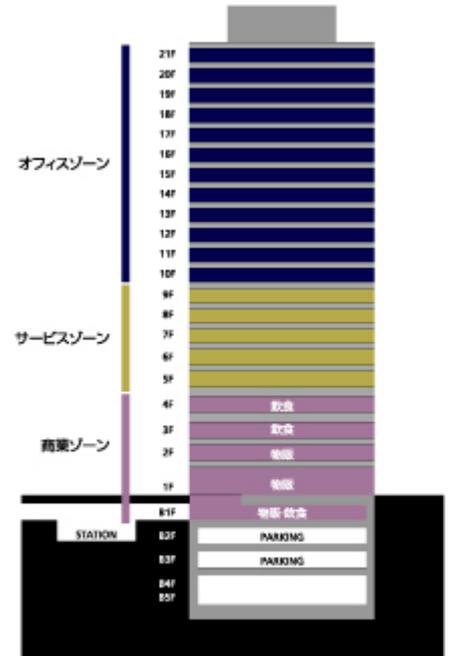
新本店所在地： 〒103-8303 東京都中央区日本橋室町二丁目 4 番 3 号  
電話番号： 03-6880-7000 (代表)  
移転日： 平成 23 年 1 月 1 日(土)  
業務開始日： 平成 23 年 1 月 4 日(火)

以 上

【別添資料】

日本橋室町野村ビル概要

物件名	日本橋室町野村ビル
所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目 4 番 3 号
敷地面積	2,744.31 平方メートル(830.16 坪)
延床面積	46,421.37 平方メートル(14,042.5 坪)
賃貸面積	事務所:約 15,000 平方メートル 商業・サービス施設:約 9,000 平方メートル
主要用途	事務所(地上 10 階～地上 21 階) 商業・サービスゾーン「YUITO(ユイト)」 (地下 1 階～地上 9 階)
構造・規模	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下 5 階・地上 21 階
竣工	平成 22 年 9 月 30 日



当行本店部分概要

賃借面積	17,818.51 平方メートル
賃借フロア	地下 1 階、1 階、地上 8 階～地上 21 階
入居テナント	新生銀行および関連子会社(新生信託銀行、新生証券、新生銀ファイナンス、新生債権回収、新生インベストメント・マネジメント他)

【新本店案内図】

